

8月4日(火) 午後 14:00~17:10

日本行動計量学会 第37回大会 チュートリアルセミナー
テスト理論のいま、そしてこれから
講師: 荘島 宏二郎 (大学入試センター研究開発部)

8月5日(水) 午前 10:00~12:00

A会場 特別セッション 非対称データの解析 I

オーガナイザー: 岡太彬訓 (多摩大学大学院経営情報学研究科)
千野直仁 (愛知学院大学心身科学部)
司会: 岡太彬訓 (多摩大学大学院経営情報学研究科)

1. Features of quasi-symmetry-like asymmetric MDS models and independence of some tests for symmetry.
千野直仁・佐部利真吾 (愛知学院大学)
2. 非対称 k -medoids 法を用いた Wikipedia XML コーパスの分析
齊藤裕一・田村航弥・波多野賢治・宿久 洋 (同志社大学)
3. 非対称モデルのある拡張—条件付き類似度としての分析
今泉 忠 (多摩大学)

B会場 特別セッション エリア・サンプリングの方法と課題

オーガナイザー・司会: 氏家 豊 (埼玉大学 社会調査研究センター)

1. エリア・サンプリングの概要
氏家 豊 (埼玉大学)
2. エリア・サンプリングの方法—そのバリエーションと RDD との比較から—
佐藤 寧 (日経リサーチ) 小野寺 典子 (NHK 放送文化研究所)
3. 調査依頼における問題—調査相手にたどりつく—
城川美香 (東邦大学) 諸藤絵美 (NHK 放送文化研究所)
4. エリア・サンプリング実験調査の概要
朝倉真粧美 (ビデオリサーチ)

◇指定討論

西川浩昭 (日本赤十字豊田看護大学)

C会場 一般セッション 心理学 I

司会：菊池賢一（東邦大学理学部）

1. 行動遺伝学における ACDE モデルの開発
尾崎幸謙（日本学術振興会・慶應義塾大学） 豊田秀樹（早稲田大学）
岩間徳兼（日本学術振興会・早稲田大学） 久保沙織（早稲田大学）
安藤寿康（慶應義塾大学）
2. Bayesian Generalized Bradley-Terry Model using RJMCMC
宇佐美慧（東京大学・日本学術振興会）
3. 精神物理学におけるベイズ的方法—マグネチュード推定法データの場合—
岡本安晴（日本女子大学）
4. 精神疾患患者による描画の画像解析—樹木画テストの特異値分解—
竹村和久・佐藤菜生・高崎いゆき（早稲田大学）
岩満優美（北里大学） 菊池裕義・吉田勝明（横浜相原病院）
5. スタンドアローンで動作するコンピュータ適応型テストシステムの開発とその応用
菊池賢一（東邦大学）

D会場 特別セッション

行動計量学的アプローチによる栄養教育の評価の試み

～その実践と今後の課題～

オーガナイザー：安達美佐（栄養サポートネットワーク合同会社・国立保健医療科学院）

司会：山岡和枝（国立保健医療科学院）

1. 診療所における行動計量学的アプローチによる栄養教育の評価 —実践と今後の課題—
寺澤康子（栄養サポートネットワーク合同会社）
安達美佐（栄養サポートネットワーク合同会社・国立保健医療科学院）
中田恵津子（神奈川県立がんセンター） 金子伸子（厚木中町クリニック）
2. 地域における糖尿病のための個別栄養教育プログラムによる
栄養教育の効果の評価研究プロトコル
安達美佐・山岡和枝（国立保健医療科学院）
小林逸郎（医療法人社団緑寿会小林内科クリニック） 渡辺満利子（昭和女子大学）
西川正子・飛田英佑・丹後俊郎（国立保健医療科学院）
3. クラスター無作為化比較試験による食育効果の評価
—都市部女子中学生を対象とした食生活プログラム—
渡辺満利子（昭和女子大学大学院生活機構研究科）
山岡和枝・丹後俊郎・飛田英佑（国立保健医療科学院）
横塚昌子（昭和女子大学 短期大学部）

4. がん専門病院の栄養管理に NST が果たす役割と評価事例
中田恵津子・石原正美・斎木一郎・辻智大・岸本有佳・齋藤千代美・平松知子（神奈川県立がんセンター） 谷口英喜（神奈川県立保健福祉大学）

◇指定討論

久保武士（龍ヶ崎済生会病院） 丸山久美子（北陸学院大学）

E会場 一般セッション 教育 I

司会：大津起夫（大学入試センター 研究開発部 独立行政法人科学技術振興機構 CREST）

1. 教科の語彙力とPISA型知識活用力に関する研究
張一平・渡部洋・鎌田恵太郎・星千枝・島田研児・須永正巳・横井理絵・阿部大輔
（教育テスト研究センター）
2. 「書く」ことへの態度及び習慣と報告型作文の評価との関連について
吉村宰・鈴木慶子・平瀬正賢（長崎大学）
3. ニューラルテスト理論を利用したCan-do table 作成の試み
松宮功（京都府長岡京市立長岡第四中学校） 荘島宏二郎（大学入試センター研究開発部）
4. Bee Colony Algorithm for Multiple Test Construction in e-Testing
Pokpong Songmuag (The University of Electro-Communications)
Maomi Ueno(The University of Electro-Communications)
5. 看護学科新入生における基本的性格特性とコンピュータ不安
安田晃・平野章二・阿部秀尚・中國秀章・花田英輔・津本周作（島根大学）
6. 制約論理プログラミングによる条件付き離散分布の導出
大津起夫（大学入試センター）

8月5日（水）午前 11：40～12：00

D会場 一般セッション 感染症データ解析

ヒトT細胞白血病ウイルス I 型の母子感染－ウイルスに対する生体防御力の性差－
江島伸興（大分大学） 岩田欧介・岩田幸子・刈茅茂・松石豊次郎（久留米大学）

8月5日（水）午後 13：00～15：00

A会場 一般セッション 数学・統計学 I

司会：小笠原 春彦（小樽商科大学商学部）

1. パームティミン回転－最小二乗行置換による因子負荷行列の単純構造化－
足立浩平（大阪大学）
2. 単相親近度データとクラスター分析法
横山暁（慶應義塾大学）・岡太彬訓（多摩大学）

3. 核関数法とBayes法とに依る分布推定の比較(2)
岸 清武
4. 欠測データメカニズムの無視可能性の検定
高井啓二(大阪大学)
5. サポートベクターマシンにおける変数選択
梅原武志(大阪大学)
6. ベイズ推定による弱い制約のある確認的多次元尺度構成法
岡田謙介(日本学術振興会/東京工業大学) 繁榎算男(帝京大学)
7. 項目反応理論におけるパラメータの推定量の分布の漸近展開
小笠原春彦(小樽商科大学)

B会場 特別セッション 日本と欧米の数理解析は違うか?

オーガナイザー: 木村通治(埼玉自動車大学校)

司会: 丸山久美子(北陸学院大学臨床社会心理学)

1. 日本と欧米の数理解析は違うか?—理論 VS 技術—
木村通治(埼玉自動車大学校)
2. 統計的思想とデータ分析実践との間の距離
繁榎算男(帝京大学)
3. 日本と欧米の数理解析は違うか—情報システム論の立場から—
馬場康維(新領域融合研究センター/統計数理研究所)
4. 日本と欧米のサーベイ・リサーチとデータ解析
真鍋一史(青山学院大学)

◇指定討論

岡太彬訓(多摩大学)

C会場 特別セッション

好みの計量特別セッション～行動計量手法の新たな地平はどこにあるか?

オーガナイザー・司会: 芳賀麻誉美(電気通信大学大学院)

1. 京都観光案内対話システムのための選好評価構造の抽出
—グルーピング評価グリッド法と自由記述法による抽出要因の差異とその融合—
三林紀子 芳賀麻誉美(電気通信大学)
岩橋直人(情報通信研究機構 MASTAR プロジェクト)
2. 数理計画法による広告キーワードの最適化
松村真宏(大阪大学) 山本晶(成蹊大学)
3. レコメンドエンジンにおけるログ分析～モバイルECサイトにおける閲覧と購買の関係～
山川義介(株式会社ALBERT) 小木しのぶ(株式会社数理システム)

4. クロスリファレンスリサーチによる携帯電話会社のブランド評価
 ～ブランド評価は相互評価でどう変化するか？
 評価を変える人、変えさせる人、そして変えさせる刺激とは？～
 芳賀麻誉美（電気通信大学） 佐藤邦弘（株式会社日経リサーチ）
 小野智弘（株式会社KDDI 研究所）
5. 選択における葛藤回避と正則性～Tversky-Shafir 実験の検証と拡張～
 山田尚樹・秋山英三（筑波大学） ○水野 誠（明治大学）

D会場 特別セッション

メタボリック・シンドロームに関する医学研究および診断基準の統計的諸問題

オーガナイザー：坂本 亘（大阪大学）・後藤昌司（医学統計研究会）

司会：後藤昌司（医学統計研究会）

1. 急性心筋梗塞発症におけるメタボリックシンドロームの関与
 原 政英・犀川哲典・吉松博信（大分大学）
2. 2型糖尿病患者における大脳白質病変の存在と腹部内臓脂肪量との関連性について
 阿南 太・軸丸季美子・岩尾 哲（大分赤十字病院） 吉松博信（大分大学）
3. 体重測定習慣は糖脂質代謝および内臓性肥満の改善に寄与する
 千葉政一・吉松博信（大分大学）
4. 「保健指導」に関する評価の試み
 五十川直樹（ファイザー株式会社） 池邊淑子（大分県地域成人病検診センター）
 坂本 亘（大阪大学） 後藤昌司（医学統計研究会）
5. メタボ健診の現場から－大学職員の健診結果を中心に－
 小倉俊郎（岡山大学）
6. メタボリックシンドロームが日本人の死亡及びがん・循環器疾患罹患に与える影響
 －多目的コホート研究の結果から－
 井上真奈美（国立がんセンター）

E会場 一般セッション 教育Ⅱ

司会：大山哲司（大分大学医学部）

1. 算数の計算課題の段階的学習と事象関連電位の変化－通分計算を例にして－
 渋川美紀・船田眞里子（白鷗大学） 二宮理憲（青山学院大学）
2. 地域の気象データを用いた計量感覚育成教育の検討
 今澤明男・直江伸至（金沢工業高等専門学校）
3. グラフィカルテストレットモデルによる適応型テストへの実データの適用
 大森拓哉（多摩大学） 繁榊算男（帝京大学）
4. 局所従属な項目があるときの項目母数の分割推定法
 橋本貴充（大学入試センター） 植野真臣（電気通信大学）

5. テストレットモデルの母数のベイズ推論
森 一将 (東京大学) 大森拓哉 (多摩大学) 繁柁算男 (帝京大学)
6. 学習時間の変化－社会生活基本調査のマイクロデータを用いて－
萩生田伸子 (埼玉大学)

F会場 特別セッション ソフトウェアデモンストレーション

1. テキストマイニングツール Text Mining Studio 体験
－テキストマイニングを活用するために－
小木しのぶ (株式会社数理システム)

8月5日 (水) 午後 15:10～17:10

B会場 特別セッション 第12次日本人の国民性調査～平成期の20年

- オーガナイザー・司会：中村 隆 (統計数理研究所)
1. 第12次調査の結果概要と回収／不能のコウホート分析－ベイズ型コウホートモデル (XXI) －
中村 隆 (統計数理研究所)
 2. 全国規模の社会調査の標本設計に関する一考察
－日本人の国民性第12次全国調査を題材として－
前田 忠彦 (統計数理研究所)
 3. 国民性調査における調査不能
土屋隆裕 (統計数理研究所)
 4. 社会調査における選択バイアスと感度分析－国民性調査データへの適用－
星野崇宏 (名古屋大学)
 5. 質問文の変更とその影響の有無について－国民性調査とその関連調査から－
松本 渉 (統計数理研究所)

C会場 特別セッション マーケティングにおける意味の発見

- オーガナイザー・司会：朝野熙彦 (首都大学東京 経営学系)
1. 消費者の認知と選好をリンクする計量的方法論の課題
朝野熙彦 (首都大学東京)
 2. 消費者の情報検索行動の解明
中山厚穂 (長崎大学)
 3. 関与レベルの違いに起因する鑑賞行動変化の測定
橋本幸子・福崎昭人・安藤美奈・多田良子 (クロス・マーケティング)
 4. 生活者にとっての旅の意味－旅の効能の検証調査－
森戸香奈子 (リクルート) ○信時 裕・石田ゆき子 (アンド・ディ)

5. 時系列自由回答データのコンテキスト分析

Context Analysis of the Chronological Open-ended Data

河野康成 (立教大学)

6. 行動ログからの消費者心理の発見

山川義介 (株式会社ALBERT)

E会場 一般セッション 看護・福祉

司会：大野ゆう子 (大阪大学大学院医学系研究科)

1. 外来化学療法部門の診療システムシミュレーション

横内光子 (名古屋大学) 大野ゆう子 (大阪大学)

高桑宗右エ門・Athula Wijewickram・竹井留美・岡本麻美 (名古屋大学)

2. 病棟タイムスタディデータベース構築に関する研究

林剣煌・大野ゆう子・清水佐知子・石井豊恵・沼崎穂高 (大阪大学)

3. 循環器系疾患専門病院における患者搬送業務の分析

野田裕子・大野ゆう子・清水佐知子・金谷一朗 (大阪大学)

岡田千鶴 (国立循環器病センター)

4. 高齢者向け公的賃貸住宅の現状－東京都板橋区シルバーピア住宅居住者の実態調査から－

馬場 康徳・國光 登志子 (立正大学)

5. 双対尺度法における”重根らしさ”感知の試み－製品ユーザビリティ指標の見直しから－

小木 元 (産業技術総合研究所)

F会場 特別セッション ソフトウェアデモンストレーション

1. 統計解析ソフトウェア S-PLUS 入門実習 －S-PLUS の利用スキルを2時間でマスター－

田澤 司(株式会社数理システム)

8月5日 (水) 午後 15:40～17:10

A会場 特別セッション 問題解決力を育む統計教育の展開

オーガナイザー・司会：竹内光悦 (実践女子大学人間社会学部)

1. 新学習指導要領にみる教育利用データやソフト用いた問題解決力の育成

竹内光悦 (実践女子大学)

2. R コマンド上で動く、統計教育用プラグインの開発

荒木孝治・橋本紀子 (関西大学) 長畑秀和 (岡山大学)

3. 生徒によるデータ登録とそれを活用した統計教育の展開

－センサス@スクールサイトの構成と活用方法－

矢原弘樹 (筑波大学) 青山和裕 (愛知教育大学)

4. 問題解決力を涵養する統計教育支援教材の研究開発

酒折文武（中央大学） 田村義保（統計数理研究所） 竹内光悦（実践女子大学）

D会場 一般セッション 医療 I

司会：大山哲司（大分大学医学部）

1. 在宅医療に必要な通信デバイスに関するインターネット調査

川上 ちひろ・市川 靖史（横浜市立大学）

2. 医用画像解析ソフト利用普及とユーザインターフェイスの関係

—テキストマイニングからのアプローチ—

高橋由武・山口和範（立教大学）

8月6日（木）午前 9：10～11：10

A会場 特別セッション 非対称データの解析 II

オーガナイザー：岡太彬訓（多摩大学大学院経営情報学研究科）

千野直仁（愛知学院大学心身科学部）

司会：千野直仁（愛知学院大学心身科学部）

1. 文字画像の配色と視認性の関係—最尤非対称多次元尺度構成法による検討—

佐部利 真吾（愛知学院大学）

2. 家族関係における階層的非対称データの分析

—Multilevel Social Relations Modelによる検討—

清水裕士（日本学術振興会・関西学院大学） 藤澤隆史（関西学院大学）

小杉考司（山口大学） 渡邊 太（大阪大学） 石盛 真徳（京都光華女子大学）

藤澤 等（長崎県立大学）

3. 食卓登場メニューにおける非対称性の分析

中山厚穂（長崎大学） 岡太彬訓（多摩大学） 横山暁（慶應義塾大学）

4. ビールの飲用経験における非対称関係の分析

岡太 彬訓（多摩大学）

B会場 特別セッション 生活環境の安全・安心（1）—居住者の意識・対策行動—

オーガナイザー：小島隆矢（早稲田大学人間科学学術院）

島田貴仁（科学警察研究所犯罪行動科学部）

司会：小島 隆矢（早稲田大学人間科学学術院）

1. 日常生活における建物内での事故防止のための評価・対策技術に関する研究

小野久美子・高見真二（国土技術政策総合研究所） 河野 守（東京理科大学）

2. 生活環境の安全・安心に関する分野横断的内容の意識調査

若林直子（有限会社生活環境工房あくと） 小島隆矢（早稲田大学）

眞方山美穂・樋野公宏・布田健（独立行政法人建築研究所）

3. PDCAサイクルに則った防犯まちづくりへの発展
－「計画的な防犯まちづくり支援システムの構築」研究開発の枠組み－
重根美香・山本俊哉・松本早野香（明治大学）
4. 地域防犯活動評価のためのSEMの適用 - 奈良市における住民意識調査の事例 -
小島 隆矢（早稲田大学）

C会場 特別セッション 環太平洋（アジア・太平洋）価値観国際比較 総合報告

オーガナイザー・司会：吉野諒三

（大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所）

1. 信頼感と基本的価値観---アジア太平洋価値観国際比較調査における文化多様体解析---
吉野諒三（統計数理研究所）
2. 宗教的な心の国際比較に向けて－2008年インド調査を踏まえ、環太平洋価値観調査から－
林 文（東洋英和女学院大学） 二階堂晃祐（統計数理研究所）
3. 健康感から捉えた文化的連鎖
山岡和枝（国立保健医療科学院）
4. 文化観の国際比較－東アジアの伝統文化と現代文化を中心に－
鄭 躍軍（同志社大学）
5. 組織に対する信頼の文化多様体解析－東アジア価値観国際比較調査とアジア・太平洋価値観
国際比較調査から－
松本渉（統計数理研究所）
6. 国際政治観
藤田泰昌（上智大学） 吉野諒三（統計数理研究所）

D会場 特別セッション リエゾン心身処方学の展開－行動計量学の挑戦－（1）

オーガナイザー・司会：丸山久美子（北陸学院大学臨床社会心理学）

1. 在宅介護者の対応が認知症高齢者の問題行動（BPSD）へ及ぼす影響
山村 豊（立正大学）
2. 高齢者の鬱病と認知症発生の経緯
吉井光信（北陸学院大学）
3. アスペルガー症候群に対するリエゾン心身処方学的支援
－リラクセーションスキルの獲得を目指して－
小泉晋一（岐阜聖徳学園大学）
4. ストレス・コーピング・スキルの概念と測定
木島恒一（北陸学院大学） 成田 猛（秋田看護福祉大学）

◇指定討論

竹村和久（早稲田大学） 松原 望（聖学院大学）

E会場 一般セッション 医療Ⅱ

司会：大山哲司（大分大学医学部）

1. リスク選好が健康関連行動に与える影響に関する研究
吉岡なつき・大野ゆう子・清水佐知子・持丸祐子（大阪大学）
志岐直美（みずほ情報総研株式会社）
2. 長崎県における小児がん治療集中化の検討
歌田真依・大野ゆう子・清水佐知子・筒井杏奈（大阪大学）
早田みどり（財団法人放射線影響研究所）
3. 長崎県におけるがん患者受療行動の分析
堀 芽久美・大野 ゆう子・清水 佐知子（大阪大学）
志岐 直美（みずほ情報総研株式会社）
早田 みどり（放射線影響研究所）
4. ビデオ画像を用いたナースステーション内の看護師移動動線の抽出
薄雄斗・大野ゆう子・山田憲嗣・金谷一朗（大阪大学）
岡田千鶴（国立循環器病センター）
5. 飲酒・喫煙への社会的相互作用効果に関する実証研究
～大学生を対象としたアンケート調査に基づく～
清水佐知子・大野ゆう子・吉岡なつき・持丸祐子（大阪大学）
志岐直美（みずほ情報総合研究所）
6. 健康指標と生活習慣病との関連について ー北東北Q市のデータからー
山田真司（青森県立保健大学） 駒田亜衣（三重短期大学）
森永八江・井澤弘美・佐藤伸（青森県立保健大学） 嵯峨井勝（つくば健康生活研究所）

8月6日（木）午後 11：20～12：20

臨床大講義室 総会

8月6日（木）午後 12：30～13：30

臨床大講義室 ランチョンセミナー 国際共同治験のデータベース化

司会：大橋京一（大分大学医学部 臨床薬理センター長）

演題：アジア国際共同試験計画上の留意点

講演者：熊谷雄治（北里大学東病院治験管理センター長）

共催：EPSインターナショナル株式会社

東京CRO株式会社

8月6日(木) 午後 13:40~16:00

臨床大講義室 シンポジウム **医療問題と行動計量学的アプローチの可能性**

オーガナイザー：徳丸 治(大分大学医学部 神経生理学講座)

司会：古林秀則(大分大学医学部 附属病院長)

1. 教育を介した地域医療への貢献ーおおいた地域医療支援システム構築事業ー
是松聖悟(大分大学医学部 脳・神経機能統御講座)
2. 広域災害時の医療対応ー災害医療の高度化は可能か?ー
山田憲彦(防衛省 航空幕僚監部 首席衛生官 空将補)
武井英理子(防衛医科大学校 防衛医学講座)
3. 災害医療における情報
芦田 廣(防衛医科大学校 防衛医学研究センター)
4. 産科医の理想的な勤務体制と勤務表の一例
久保武士(龍ヶ崎済生会病院 院長) 重光貞彦(龍ヶ崎済生会病院)

◇指定討論

飽戸 弘(日本行動計量学会理事長)

◇総括

研究分野を超えてー行動計量学的アプローチー

江島伸興(大分大学医学部)

8月7日(金) 午前 10:00~12:00

A会場 特別セッション 機械学習とデータ解析

オーガナイザー・司会：植野真臣(電気通信大学大学院情報システム学研究科)

1. Estimate Response-based Active Learning
Neil Rubens(電気通信大学)
2. 経験的BDeuの最適化によるベイジアンネットワーク学習
大川淳史・植野真臣(電気通信大学)
3. 熱力学的アプローチによるベイジアンネットワークの構造推定
磯崎隆司(電気通信大学/富士ゼロックス(株)) 植野真臣(電気通信大学)
4. データマイニング組み込みによるベイジアンネットワーク学習の高速化手法
森下民平(電気通信大学/(株)シーエーシー) 植野真臣(電気通信大学)
5. ベイジアンネットワーク学習についての特性分析とスコアの改善案
植野真臣(電気通信大学)

B会場 特別セッション 郵送調査法—新たな時代の主力手法となりえるか—

オーガナイザー：松田 映二（朝日新聞社・世論調査センター）

司会：林 英夫（LCA 大学院大学）

1. 郵送調査法への偏見と今後の課題
林 英夫（LCA 大学院大学）
2. 郵送調査法の知見と新たな研究動向
小島 秀夫（茨城大学）
3. 匿名性を確保した郵送調査の実施方式に関する検討
前田 忠彦（統計数理研究所）
4. 郵送調査の回答特性
松田 映二（朝日新聞社・世論調査センター）

C会場 特別セッション 複雑系データの分析

オーガナイザー：水鳥友昭（株式会社インターネット総合研究所）

司会：丸山久美子（北陸学院大学臨床社会心理学）

1. 渋滞のサイエンスと実践—自己駆動粒子系の集団力学—
西成活裕（東京大学）
2. ネットワーク不均質性の協調進化に与える影響について
白山 晋・塚本 鋭（東京大学）
3. 複雑時空間現象のモデリング
中村和幸（明治大学）
4. 液状化社会の諸相—アノミーとカオス—
天野 徹（明星大学）
5. インターネット攻撃の現状
水鳥友昭（株式会社インターネット総合研究所）

◇ 指定討論

岩崎学（成蹊大学）

D会場 特別セッション

社会のニーズに応える教育機関の取組み～看護教育 GP を生かした教育機関が実施する社会貢献の具現的事業展開と医学部が実施する教育的取組み～

オーガナイザー・司会：清村紀子（西南女学院大学保健福祉学部看護学科）

1. 事業展開における組織運営
伊藤直子・清村紀子・小田日出子・浅野嘉延・工藤二郎（西南女学院大学）
2. 事業展開における戦略的広報活動
鹿毛美香・伊藤直子・吉原悦子・石川恵・時吉佐和子・清村紀子（西南女学院大学）

3. 教育講演受講者の認識からみた看護者の学習ニーズ
—「看護に生かすからだの知識」に焦点をあてて—
石川恵・時吉佐和子・清村紀子（西南女学院大学）
4. 社会人の学び直しニーズ教育推進プログラム実施結果—目的達成のための要因分析—
時吉佐和子・小田日出子・清村紀子・鹿嶋聡子・水原美地（西南女学院大学）
5. 事業展開における監査活動の評価—PDCA 循環型評価を展開して—
布花原明子・原百合・石田佳奈子・村山由起子・飯野英親（西南女学院大学）
6. 医学教育における「予測」の活用
横井 功・北野敬明（大分大学）

E会場 一般セッション 認知・情報

司会：船田眞里子（白鷗大学経営学部）

1. 仮想状況と現実状況における食事メニュー嗜好の差異について
麻生英樹・本村陽一（産業技術総合研究所） 小野智弘（KDDI 研究所）
2. 折り鶴から見た作業活動評価尺度の信頼性
浅井憲義・三戸香代・河村晃依（北里大学）
3. Web アンケート回答時における眼球運動による研究
緒方明子・染矢聡・岡本孝司（東京大学）
4. 順位付けアンケート回答時の眼球運動に関する研究
飯塚勝哉・染矢聡・岡本孝司（東京大学）
5. Web アンケート調査の高情報化—マウスログによる潜在意識の推定—
酒巻隆治・染矢聡（東京大学）
6. 考える課題実行時の事象関連電位の計量—ハノイの塔を使用して—
船田眞里子（白鷗大学） 五十嵐善英（群馬大学） 渋谷美紀（白鷗大学）
船田 忠（立教大学） 二宮理憲（青山学院大学）

8月7日（金）午後 13：00～15：00

A会場 一般セッション 数学・統計学Ⅱ

司会：大山 哲司（大分大学医学部）

1. 最適テスト設計のための stress-strength モデル
廣瀬 英雄・〇作村 建紀（九州工業大学）
2. 社会的自己相関と時間性資源の結合方式：方法論の検討
渡辺 理（東京工業大学）
3. Compositional data に関する変数選択
中西寛子（成蹊大学）

4. シンプリマックスターゲットを事前分布に用いたベイズ因子分析
橋本 翔 (大阪大学)
5. 選択的ADF3を用いた構造方程式モデリング
岩間徳兼・豊田秀樹 (早稲田大学)

B会場 特別セッション 生活環境の安全・安心(2) -犯罪現象の行動計量-

オーガナイザー：島田貴仁 (科学警察研究所犯罪行動科学部)

小島 隆矢 (早稲田大学人間科学学術院)

司会：島田貴仁 (科学警察研究所犯罪行動科学部)

1. 犯罪の近接反復被害：住居侵入盗の時空間分析
菊池城治 (科学警察研究所)
2. 住宅対象犯罪と集合的効力感に関する生態学的分析
島田貴仁・雨宮護 (科学警察研究所) 岩倉希 (法政大学) 高木大資 (東京大学)
3. 路上での不安感の要因と経路選択への影響 -千葉市S町でのアンケート調査より-
樋野公宏 (独立行政法人建築研究所)
4. 犯罪不安感に関する因果関係の分析-平成19年度の全国的意識調査より-
小島 隆矢 (早稲田大学)

C会場 一般セッション 心理II

司会：繁榊算男 (帝京大学)

1. 複数回答項目の回答率の検討-回答形式の違いによる比較-
増田 真也 (慶應義塾大学)
2. 2値データの数量化分析におけるスコア間の非線形関係について
村上 隆 (中京大学)
3. 項目反応理論における、無作為でないテスト形式への割り当てがある場合のベイズ同時推定
等化法
宮崎 慧 (東京大学)
4. 複数の情報源から異なるリスク情報が提供される際情報の形式が受け手に与える影響
広田すみれ (東京都市大学)
5. ベイズ的アプローチによる選抜集団の相関と回帰に関する推論
繁榊算男 (帝京大学) 岡田謙介 (日本学術振興会/東京工業大学)

D会場 特別セッション リエゾン心身処方学の展開—行動計量学の挑戦—(2)

オーガナイザー・司会：丸山久美子（北陸学院大学臨床社会心理学）

1. 緩和ケアにおけるQOL調査—EORTC QLQ-C15-PALをめぐって—
宮崎 貴久子（京都大学）
2. QOLとリエゾン心身処方学の接点
萬代 隆（国立循環器病センター） 丸山久美子（北陸学院大学）
3. スピリチュアルケアに看護援助技術が果たす役割
西山 悦子（新潟大学）

◇ 指定討論

竹村 和久（早稲田大学） 清村 紀子（西南女学院大学）

E会場 一般セッション 行動分析

司会：上野雄史（静岡県立大学経営情報学部）

1. 階層移動検出結果の基礎データ化—日常行動記録計のタイムスタディ応用を想定して—
喜久元香・大野ゆう子・石井豊恵・清水佐知子（大阪大学）
2. 日中大学生による学習意欲に影響を及ぼす要因
王 明潔・大浦 洋子（九州情報大学）
3. 試食前後の脳波を用いた試食の効果に関する定量的解析
飯泉祐輝・○上岡丈敏・川村憲佑・渋川美紀・船田眞里子（白鷗大学）
4. 診断検査を評価するためのグラフィカル接近法
下川敏雄（山梨大学） 後藤昌司（特定非営利活動法人医学統計研究会）
5. 受講者の性格とフロー感覚に基づくヒップホップダンスの指導法に関する研究
内山須美子・船田眞里子（白鷗大学）
6. 会計規制と経営者行動の変化に関する研究—行動経済学アプローチの適用可能性を探る—
上野雄史（静岡県立大学）